行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	地域保健活動普及等委託費	担当部局庁	健康局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度	担当課室	総務課保健指導室	尾田 進				
会計区分	一般会計	施策名	VI-3-6 地域の保健医療体制を確保する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	先駆的保健活動交流推進事業について 保健指導支援事業の委託について					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	- 先駆的保健活動交流推進事業 地域における保健活動の多様化に対応するため、新たな地域保健活動の手法等の把握・開発・普及等により、地域保健活動の質の向上に資する。 - 保健指導支援事業 効果的かつ効率的な保健指導の実施を推進するため、保健指導技術に関する研究や学習教材の開発、困難事例に対する助言・指導等により、保健指導の技術・技能の向上に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	- 先駆的保健活動交流推進事業(22年度) さまざまな分野で活動する保健師の現状・意識等について調査を行い、その結果を分析して保健師をとりまく課題等を検討する。また、地域保健活動を担当する保健師の技能・技術を向上させるための研修プログラムを検討するとともに、研修会を開催する。 - 保健指導支援事業(22年度) 困難事例等を題材として保健指導の実践事例検討会を各地で開催し、活動領域や立場の異なる保健指導実施者同士が自らの実践を振り返り意見交換を行うことを通して保健指導のスキルアップを図る。また、効果的な保健指導実践事例や保健指導プログラムを収集し、普及を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	56	55	37	28	27	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	56	55	37	28	27	
	執行額	56	55	37				
執行率(%)	100	100	100					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	保健所保健師及び市町村保健師数		成果実績	人	24,262	24,444	集計中	対前年度以上
			達成度	%	100	100	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	保健所保健師及び市町村保健師数		活動実績 (当初見込み)	人	24,262	24,444	集計中	-
						(-)	(-)	
単位当たりコスト	2,246 (円/成果目標)		算出根拠	平成21年度予算額/平成21年度保健所保健師及び市町村保健師数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	委託費	28	27	・統一単価による減				
計	28	27						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	地域の保健活動を担う、保健師の技術・技能の向上を図ることは、ひいては地域住民の健康保持増進につながる。
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	(公社)日本看護協会は、日本最大の看護職能団体であり、保健活動に関する調査研究やプログラム開発のノウハウも蓄積されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	・地域において保健活動を担う保健師の能力の向上を図ることは、国民の健康の保持増進を図る上で重要である。また、各事業について、団体のノウハウやネットワークを活用することにより効果的に実施されており、その成果は広く保健活動従事者に浸透している。このため、本事業については、引き続き推進すべきものと判断。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の必要性、予算の執行の観点からの評価としては概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度

厚生労働省
37百万円

先駆的保健活動支援事業
及び保健指導支援事業の
実施

【補助】

A.(公社)日本看護協会 37百万
円

【競争入札等】

B 民間会社 14百万円
(6者)

1	株式会社 富士通総研	10百万円
2	株式会社 プリカ	2百万円
3	株式会社 サンワ	1百万円
4	有限会社 ペンハウス	0.6百万円
5	株式会社 スキルプリネット	0.5百万円
6	株式会社 アドレス・インフォメ ーション	0.4百万円

先駆的保健活動交流推進事業の
実施に伴う集計業務、賃金等

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。費
 目と使途の双方で実情が分かる
 ように記載)

A. 日本看護協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
諸謝金	講師及び委員謝金等	3.0			
旅費	講師旅費、実行委員等旅費	9.0			
庁費	通信運搬費、印刷製本費等	12.0			
委託費	調査委託及び報告書作成費用等	13.0			
計		37.0	計		0
B.株式会社 富士通総研			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
受託等	調査業務	10.0			
計		10.0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本看護協会	先駆的保健活動支援事業及び保健活動支援事業の実施	37		

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)富士通総研	先駆的保健活動交流推進事業の実施に伴う集計業務、賃金等	10	3	33%
2	(株)プリカ	先駆的保健活動交流推進事業の実施に伴うチラシ及びハガキの印刷等	2	3	33%
3	(株)サンワ	先駆的保健活動交流推進事業の実施に伴う報告書(H22年度保健師活動基盤に関する基礎調査)の印刷等	1	3	33%
4	(有)ペンハウス	先駆的保健活動交流推進事業の実施に伴うテープ起こし	0.6	随意契約	
5	(株)スキルプリネット	先駆的保健活動交流推進事業の実施に伴う報告書(H22年度保健師活動強化コンサルテーション事業)の印刷等	0.5	3	33%
6	(株)アドレス・インフォメーション	先駆的保健活動交流推進事業の実施に伴う報告書の発送業務等	0.4	3	33%